



皮膚の赤みが取れ白くキレイな肌になった刈部さん



からはがれていることがよくあり、寝ている途中で、口呼吸になるからでしょう。でも、続けていくうちに、朝までテープがついたままの目がふえました。「あいうべ」の効果もあるのかもしれませんが。「あいうべ」は、舌や口の周囲の筋肉を鍛える体操です。舌を正しい位置に戻すことで、鼻呼吸をしやすいのです。私は、この「あいうべ」を入浴中

に、毎日30回行いました。こうして、ロテープと「あいうべ」を始めてから、口が乾燥することも、のどを腫らすこともなくなり、朝まで熟睡できるようになりました。以前のようには疲れも残りません。そして、アトピーの症状は徐々に和らぎ、1年もすると、目立たなくなりました。その後、皮膚はキレイな状態を維持できています。花粉症も少しずつ軽くなり、2年前からは薬もいっさい飲んでいません。まさに、奇跡のような効果でした。そこで私は、ロテープや「あいうべ」を、まず小学1年生の姪に教えました。姪もアトピーがひどかったのです。ところが、ロテープと「あいうべ」を始めたところ、なんと2ヵ月で症状がなくなりました。こんなすばらしいことは、多くの人に伝えたいと思い、歯科に来られる患者さんにも、ときどきロテープなどを教えていま

す。試した人のなかには、アトピーや花粉症が治ったと喜んでくれる人も少なくありません。現在、体調も肌も、私の生涯で最もよい状態です。先日、地震に備えた避難袋には、抗アレルギー薬ではなく、サージカルテープを入れました。私の人生に欠かせないものだからです。アトピーや花粉症は、口呼吸の影響が大きい今井一彰

アトピーや花粉症は、口呼吸の影響が大きい今井一彰

ロテープ アトピーがロテープで改善し キレイな肌に一変! 花粉症の薬も不要になった私

ロテープとは一生のつきあいと思っていた 私は、小学5年生から30年以上、アトピー性皮膚炎に苦しんでいました。顔、首、ひざやひじの内側に、ジュクジュクした湿疹ができ、かゆみで眠れないこともあり、皮膚科では、あたりまえのよう

にステロイド軟膏が処方され、症状はよくなったり、悪くなったりのくり返し。20代のころに悪化した際、大学病院の医師に、このままステロイドを使うのは危険と判断され、ステロイドをやめました。 そのリバウンドは耐え難いものでした。朝起きると顔がパンパンに腫れて目が開かず、顔から膿が出てきます。このような状態なので、外出するのが、いつもおっくうでした。 ステロイドによるリバウンドが治まったあとも、アトピーが治ったわけではありません。疲れたときなど、たちまち症状が現れました。顔から首にかけて、皮膚が真っ赤に腫れまし

た。さらに、花粉の時期になると、顔が強烈にかゆくなり、花粉症は、長年、薬に頼らざるをえませんでした。 けつきよく、30代になって も、40代になっても、アトピーも花粉症も治りません。一生つきあつていくんだと、あきらめるしかありませんでした。 そんな私に、私が勤務する歯科クリニックの相田能輝院長が、今井一彰先生を紹介してくれました。5年前のことです。 今井先生から、口呼吸の弊害を聞いたときは、あせんとしました。思い当たることはいくつもあつたからです。 私は少し出っ歯で、いつも口を開けて呼吸をしていました。朝起きると、口はカラカラで、よくのどが腫れました。声が出なくなることもあり、そのつど、



スチール脱腸帯 スチール脱腸帯 株式会社 森田スチール本舗

※筆者紹介は192ページにあります。